

## 平成26年度第2回印西市国際化推進懇談会 会議録

- 1 **開催日時** 平成27年3月11日（水）・午前9時30分～11時40分
- 2 **開催場所** 印西市役所会議棟203会議室
- 3 **出席者** 吉原久雄委員、紫合治委員、山田公成委員、清水武彦委員、木村健一郎委員、木森隆委員、梅川理恵委員、池田アン委員、全英愛委員
- 4 **欠席者** 山口道博委員、杉田礼子委員
- 5 **事務局** 堀江企画政策課長、金子主査補、河合主査補
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **議題** (1) 印西市国際化推進方針の概要について  
(2) 平成26年度の主な実施事業について  
(3) その他
- 8 **議事録（要点筆記）**

### ◎議事1 印西市国際化推進方針の概要について

【事務局より説明】

【以下、質疑応答】

**委員** 外国人登録者数の資料は平成23年度のものとなっていますが、平成27年度の新しいものにする計画はありますか。

**事務局** 来年度の印西市国際化推進方針改訂版の策定にあたり、最新のものにする予定でございます。

**議長** 人数のデータは変わるものなので、挟み込みにすると良いと思います。

**委員** この懇談会の性格についてお聞きしたい。市の考えや提案について、自由に意見を述べたり、委員から出てきた意見を取り上げたりなど、形にこだわらず、自由に意見を述べるということによろしいですか。

**議長** そのとおりです。市からの提案に意見を述べるだけでなく、委員から意見を出し、市の施策に加えていただくということをこれまで行ってきました。  
事務局の考えはどうですか。

**事務局** そのとおりです。本懇談会は、自由闊達な意見交換の場として認識しております。今年度実施した外国人市民への意識調査には、本懇談会の意見をかなり反映しており、今後も、そのような形で進めていきたいと考えております。

**委員** 印西市国際交流協会と市の関係について教えていただきたい。

**委員** 15年前、みんなで仲良く暮らせるまちをつくろうということで、市の主導で印西市国際交流協会が設立しました。現在、市からは独立しており、年間50万円の補助金をもらい、イベント、語学講座など、市民のための事業を行っています。会員数は約180人です。市には、活動を報告・相談するほか、公共施設の利用に際し、無料で利用できるような配慮をいただいています。

**委員** 17ページのところで、台湾籍の人がいないようだが、中国籍に含まれていますか。

**事務局** 市民課で管理しておりますが、平成27年のデータでは、台湾籍の人が登録されています。平成23年度においては、おそらく中国籍に含まれていると思われませんが、市民課に確認した上で、改めて報告いたします。

**委員** 外国人登録者の1,200人には、日本国籍であっても言語等の問題を抱えている人が含まれていないので、本当の人数ではないと思います。そのことを頭に入れておいた方がいいです。

**委員** 出身者なのか、国籍なのか区別した方がいいと思います。

**委員** 市役所では、国籍の登録は把握できるが、出身の把握はできないのではないですか。

**事務局** そのとおりです。

**議長** 国籍が日本であっても、支援を必要とする人を把握していく努力も必要であると思います。

**委員** 参考としてお話ししますが、外国人が日本人と結婚しても、日本国籍を取得するわけではないので、夫の氏を使うことができません。夫の氏を使うなら帰化するしかありません。通称名として夫の氏を登録し使うことはできますが、書類を作成するときは必ず本名を使わなければならない、家族と氏が違うことで、とても不便な思いをします。日本人の多くはそのことを知らないと思うので参考までにお話ししました。

**委員** 帰化の申請は、日本に10年以上住んでいることが条件で、夫の会社の収入やこれまでの経歴などたくさんの書類を提出しなければならず、認めてもらえないと夫の氏を取得することはできません。

**委員** 今は、住民票に通称名を記載してもらえるようになったので、とても便利になりました。通称名は、普段その名前を使っていることを証明する書類を市民課に持っていけば登録してくれます。

**委員** これまでは、住民票に夫と子供の名前しか載らず、自分の名前が載っていませんでしたが、2年前に法律が変わり、今は一緒に載るようになりました。

**議長** その辺の話は市で対応できるものではなく、国レベルの話になってくると思いますが、状況はよくわかりました。

## ◎議事2 平成26年度の主な実施事業について

【事務局より説明】

【以下、質疑応答】

**委員** ALTの先生を活用した事業も行っていると思いますが、他の部署の事業についても載せた方が良くと思います。

**事務局** そのとおりですので、他の部署を含めた総括の事業報告については、来年度の会議においてご説明いたします。

**議 長** それでは、次回の会議ということによろしいですか。今簡単に説明できるものがありますか。

**事務局** 指導課において、国際理解教育推進事業ということで、市内各中学校区に英語を母国語とする外国語指導助手を1人ずつ、計10人を配置し、小中学校の英語教育の充実を図っております。予算額は、約4千400万円を計上しております。また、防災課において、防災意識啓発事業ということで、日本語（ふりがな付き）・英語・中国語・韓国語を併記した総合防災ブックを作成しております。予算額は、約230万円を計上しております。主なものは以上でございます。

**委 員** 外国人の無料相談について前回の会議でも議論となりましたが、最終的に市役所を相談場所にした理由は何ですか。

**議 長** 参加者が少ないということで議論になったと思いますが、事務局はどうですか。

**事務局** これまでの実績は7件ですが、この全てを市役所で行ったわけではなく、相談者の都合に合わせて日時や場所を変更し対応したものを含んでおります。市としましては、前回の会議の議論を踏まえ、定期日と併せ、その日に利用できない人のために日時や場所を変更するなど、柔軟な対応にも努めている状況でございます。ただ、広報する場合は、あくまで定期日を周知しております。

**委 員** 定期日には行政書士が常駐していますか。開催は平日のみですか。

**事務局** 予約制をとっていますので、常駐してはおりません。また、定期日が利用できない人に対しては、行政書士と調整のうえ、土日に開催する場合もございます。

**委 員** それなら広報するときに、固定日時のあとに括弧書きで、「都合が悪い人は行政書士と相談して日時を変更できます」など、もう少し柔軟な対応ができるということを表示した方が相談しやすいと思います。固定された日時では利用しにくい人もいるだろうし、市役所に相談に行くというのがそもそも難しいです。

あと、外国人市民との交流事業でバスツアーを実施したとありますが、どのように広報しましたか。

**委 員** 市の広報紙と印西市国際交流協会のホームページに掲載しました。

**委 員** 八千代市で行われた県主催の災害時通訳ボランティア講座に参加しましたが、岐阜県で外国人相談を行っているペルー人から、役所ではなく別の所で実施しており通訳も配置しているということを聞きました。とても理想的だが印西市はそこまでいいっていません。

**委 員** 役所は、外国人からするとイメージ的に怖いです。自分の悩みを役所で相談することに抵抗感があるので、例えば、印西市国際交流協会の一室で行うなど、リラックスできる場所で行うと相談者も増えると思います。

**委 員** ご自由に相談くださいという雰囲気がいいですね。とりあえず相談してくださいという窓口があり、条件が整っていけば、市も印西市国際交流協会もお手伝いするということになると思います。

**委 員** 印西市国際交流協会が活躍した方が、市もやりやすいと思います。

**議 長** この事業は、印西市国際交流協会との共催事業になっていますね。

**事務局** 悩みを抱えている外国人市民はたくさんいると思いますので、できるだけ相談に乗りやすい体制づくりを、印西市国際交流協会と調整しながら進めていきたいと考えております。結果については、後ほど報告させていただきます。

**議 長** 前回に比べ7件に増えたということで、会議での意見が反映されて良かったと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

**委 員** 市では、広報紙の英訳など翻訳業務を良くされていますが、翻訳の仕事は市の職員で行っているのか、委託されているのかお聞きしたい。また、3ページのところで学校における国際理解教育に取り組みられていますが、予算20万円に対し4万9千円の執行ということで、もう少し利用が増えても良いと思いますが、その辺の工夫についてお聞きします。

**事務局** 本課で行っている翻訳業務については外国語が堪能な市民にお願いしており、謝礼という形で支払っております。市のホームページについては外部委託をしており、多言語への変換については翻訳ソフトを使っております。総合防災ブックについては外部委託しております。

**委 員** ごみの分別表についてはどうですか。

**事務局** それについても外部委託をしております。以上のように、翻訳業務については、業者への外部委託と市民からの協力により運営しております。

また、異文化理解推進事業については、現在、学校側で自由にプログラムできる総合学習の時間などに取り入れていただいております。国際理解に関心のある学校を中心に利用いただいております。ただ、利用校はリピート校に限られ、以前の会議でご意見をいただきました他の学校への利用が進んでいない状況となっておりますことから、今後、工夫しながら進めていきたいと考えております。

**委 員** 市のホームページの翻訳についてですが、以前よりは充実した感じを受けます。業者へ委託しているということですが、以前も提案しましたが、緊急のお知らせや期日が付いている重要な内容は逃したり知らなかったりでは大変なことになりますので、ぜひ人間による翻訳を載せてほしいと思います。

**議 長** 先ほどの事務局の説明で、一般のボランティアがかなり翻訳を行っているということですので、量的に少なく重要な部分については、ボランティアか業者が訳して載せることも重要なことかもしれません。

**事務局** 市のホームページは翻訳ソフトで対応しておりますが、緊急のお知らせや期限付きのものなどについては人間が翻訳した方がベストだと思いますので、今後、関係課と調整しながら検討していきたいと考えております。

**委 員** 翻訳については翻訳する人と監修者がいると思いますので、いろいろな制約はあると思いますが、企画政策課で翻訳の監修ができれば良いと思います。

**議 長** 幼稚園・小中学校の異文化理解推進事業については、先ほどの説明でよろしいですか。

**委 員** 結構です。リピート率が高いということは素晴らしいことだと思います。

**議長** 異文化理解推進事業で予算額に対し決算額が4分の1となっていますが、あと4倍くらいに増やす目標と考えてよろしいですか。それとも、予定ほど実績が出なかったということですか。

**事務局** 市立幼稚園3園、小中学校29校に対し、利用校を10校と見積もって予算計上しており、実績が予算額の半分強ということでございます。

**議長** 本懇談会には、校長先生もおりますので、積極的に利用していただけるよう働きかけても良いと思います。

**委員** 外国人の子供に日本語を教えたことがあります。市川市では外国人の子供がたくさんいるので、学校の中に外国人のクラスをつくり対応しているようですが、市などで対応が全く違うようなので印西市はどうですか。以前、広報紙で「外国語ができる人で、日本語のできない子供に日本語を教えられる人募集中」という記事を見ましたが、印西市ではどうなっていますか。

**事務局** 日本語のできない子供に対しては、教育部で日本語指導員を配置していると思いますが、現時点では状況を把握しておりませんので、詳細については担当に確認し、改めて報告いたします。

**委員** 印西市国際交流協会の理事で日本語を教えている人が、毎週日曜日の午前中、小林公民館で、以前日本語を教えていた中国から来た中学生に、日本語と社会（歴史）を教えています。これは特別な例で、国際交流協会や個人がボランティアでやるには限度があります。例えば、成田市は外国人が多いので、教育委員会が外国から来た日本語のできる人を臨時職員として雇い対応していると聞いています。そういう体制が充実していれば良いと思います。

**委員** 役所の臨時職員等で対応していただくことは理想的ですが難しいと思います。以前私がいた東京の国際交流協会では、ボランティア登録が盛んでたくさんのボランティアを抱えていました。語学ボランティア、子供に日本語支援を行うボランティア、ベビーシッターのようなボランティアなど、いろいろな形態のボランティアがいました。意欲のある人に活動の場を与える機会となり、市民間交流にもつながり、経済的でもあるのでとても良いと思います。

**議長** アメリカに子供を連れていった時、一般の小中学校にESLといって外国人向けの英語クラスがあり、そこで英語を教えてもらい、場合によっては数学など他の科目も教えてもらっていました。英語が全くわからない子供が現地の学校に行き、学校生活が行えるような体制が全ての学校に整備されている状態です。全ての学校に外国人向けのクラスがあり、職員が配置されています。日本もそこまですなれば良いと思います。

**委員** 私の親戚がカナダにいますが、カナダでは若い学生がボランティアとなり、親が忙しい家庭の子供と一緒に遊んだり、勉強を教えたりするシステムがあるようですので、大学生の力を借りるのも良いと思います。

**委員** 提案として、印西市在住の外国人のために、在外の日本人会のような組織を立ち上げたらどうですか。まず、市の主導で、国籍別に中国、韓国、フィリピン、その他英語圏の出身者で組織を立ち上げ、各国籍の中から理事や担当役員をつくり後はお任せするという形をとってはどうですか。私もアメリカに住んでいた時日本人会に入っていたが、そこでいろいろな情報を得ました。役所にいちいち行かなくても長く滞在している同邦人から情報をいただけます。組織を立ち上げたら、年に1、2度交流会を開き、同邦人同士の交流を図るようにします。それほど難しい作業ではないと思います。

**委員** 八千代市に住んでいた時、年に1回、市内に住む外国人全員に手紙が送られてきて、クリスマス会のような交流会をやっていました。いつも思うことですが、市役所や公民館ではなく、気楽に集まれる場所で、月に2回程度、相談や友達づくりとかいろいろな情報の交換ができたらと思います。ただ、それを立ち上げるのが難しいです。

**委員** 印西市国際交流協会で行っている交流カフェが良いと思います。

**事務局** 素晴らしいご提案をいただきましたので、研究させていただきます。

**委員** 先般、中央駅前地域交流館において、印西警察主催のフレンドシップデーが実施され、警察について、交通ルールについて、災害時の対応についての説明がありました。参加者は40人で少なかったですが、こういうことがありましたので、意識調査の中に防犯を載せていない理由をお聞きしたいと思います。

**事務局** 意識調査の設問については、他市町を参考に作成し懇談会に諮りながら決定したわけですが、特に理由はございません。しかしながら、今後は、重要な分野ということで取り入れていきたいと考えております。

**委員** 今回配られた意識調査は他に配ってよろしいですか。国際交流協会や警察に資料の提供をしたいと考えています。

**事務局** 各機関の内部資料としてお使いいただく場合は結構です。ただ、今後公表する際には、もう少し整えてから公表したいと考えております。

**委員** 割合緊急性のあることとして、医療機関についての情報提供は十分に行われているか少し心配しています。アンケートの13ページの「病気になったら困ることは」のところ、半数以上は特に困らないということですが、日本や印西での在留期間が長い人はある程度情報があると思いますが、最近転入された人は病気になったらどこに行けばいいか、外国語が通じるかどうかなど問題があると思います。印西市にある医療機関については、外国語での体制など、外国の人に聞かれたらすぐにわかるような情報があっても良いと思います。

**事務局** 千葉県において、外国語で対応できる医療機関や質問用紙の多言語版の情報を提供しているサイトがあり、現在、市のホームページにリンクさせている状況でございます。市内のどの医療機関が多言語で対応できるか等の情報はこのサイトに頼っている状況ですので、そのような体制づくりが市として可能かどうか、担当課に確認したいと考えております。

### ◎議事3 その他

#### 【情報交換】

**委員** 印西市国際交流協会では何か良いことができないかということで、毎月2回、第2土曜日(印西市国際交流協会事務所)と第4木曜日(中央駅前地域交流館)に、インターナショナルフレンドシップカフェを開催しています。外国人でも日本人でもだれでも自由に来てお話ししましょうという会ですので、よろしく願います。チラシについては公共施設に張っていただくことになっています。

**委員** 1回目の時に参加しましたが、外国人だけでなく日本人も非常に良かったと言っていました。人間同士、会って話して付き合っただけで初めて親近感がわくと思いますので、この会はとても良いと思います。

**委員** 印西総合病院が問題になり夜間救急もやっていないようですが、今後のことがわかりますか。

**事務局** 印西総合病院に関しては、民事再生手続きの関係でいろいろありましたが、3月1日から平成博愛会が運営していくことになり、診療科目も若干増えると聞いております。

**委員** この前子供がインフルエンザにかかった時、印西市では診てもらえないので成田市や佐倉市に行かなければならず大変な思いをしました。印西市は医療システムができていないと改めて思いますので、良くなってほしいです。

**委員** 印西総合病院については、24時間体制や診療科目の増設について要望していく形になると思います。

平成27年3月11日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

平成 年 月 日

会議録署名委員 \_\_\_\_\_